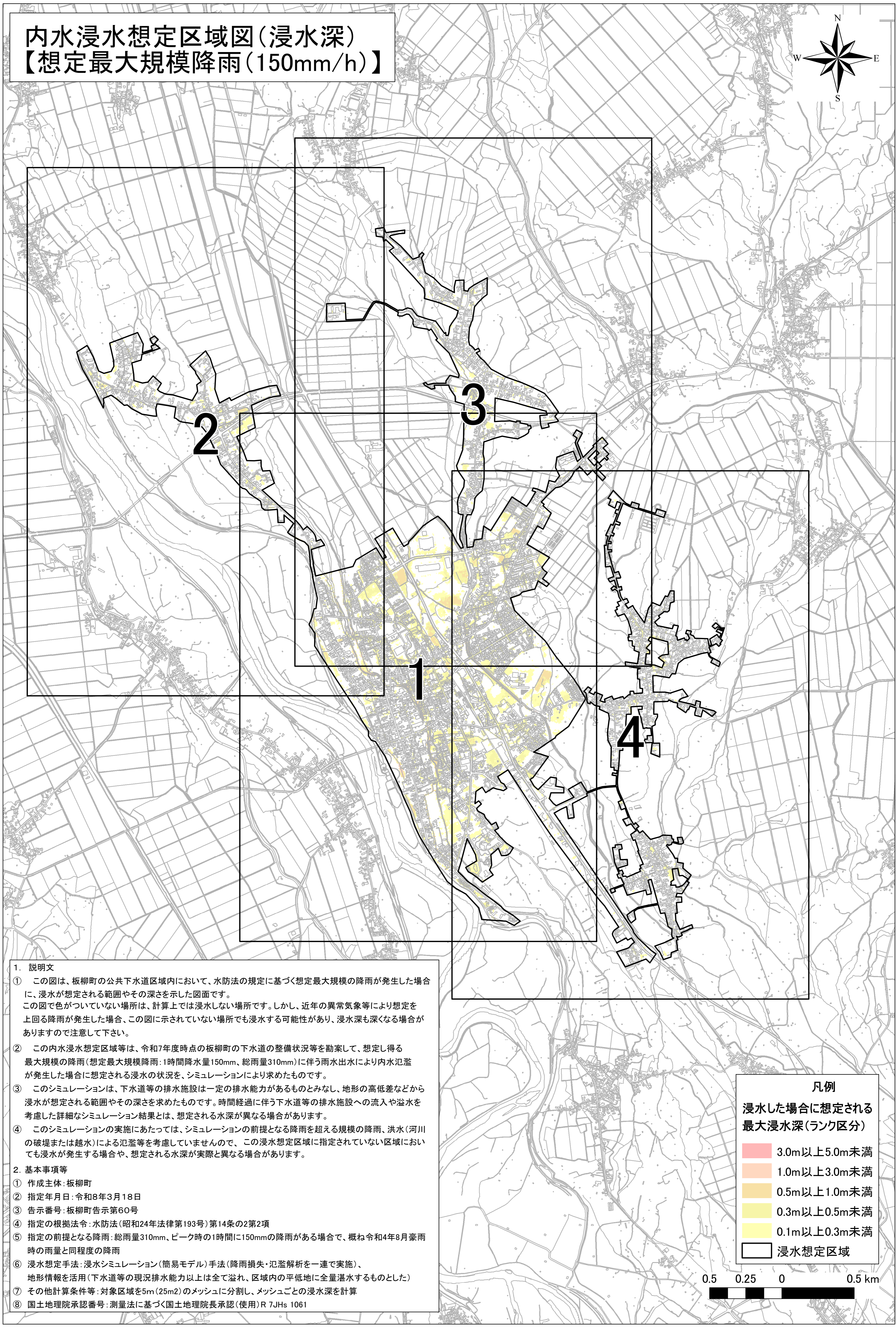


# 内水浸水想定区域図(浸水深) 【想定最大規模降雨(150mm/h)】



## 1. 説明文

- この図は、板柳町の公共下水道区域内において、水防法の規定に基づく想定最大規模の降雨が発生した場合に、浸水が想定される範囲やその深さを示した図面です。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、近年の異常気象等により想定を上回る降雨が発生した場合、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
- この内水浸水想定区域等は、令和7年度時点の板柳町の下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨:1時間降水量150mm、総雨量310mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深が異なる場合があります。
- このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

## 2. 基本事項等

- 作成主体:板柳町
- 指定年月日:令和8年3月18日
- 告示番号:板柳町告示第60号
- 指定の根拠法令:水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
- 指定の前提となる降雨:総雨量310mm、ピーク時の1時間に150mmの降雨がある場合で、概ね令和4年8月豪雨時の雨量と同程度の降雨
- 浸水想定手法:浸水シミュレーション(簡易モデル)手法(降雨損失・氾濫解析を一連で実施)、地形情報を活用(下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の平地地に全量湛水するものとした)
- その他計算条件等:対象区域を5m(25m<sup>2</sup>)のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算
- 国土地理院承認番号:測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 1061

## 凡例

浸水した場合に想定される  
最大浸水深(ランク区分)

- 3.0m以上5.0m未満
- 1.0m以上3.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.3m以上0.5m未満
- 0.1m以上0.3m未満
- 浸水想定区域

